

学 校 教 育

1. 学校教育の充実

未来を拓く、心豊かでたくましい人間の育成をめざし、幼稚園教育・義務教育の一貫性を保ちつつ、すべての子どもたちに確かな学力と豊かな心、健やかな体を育む学校教育の充実に取り組む。総合的な学習の時間や地域に根ざした多様な体験活動により、子どもたちが楽しく安心でき家庭や地域に信頼される特色ある学校・幼稚園づくりに努め、ふるさと彦根に愛着と誇りを持ち持続可能な社会を担う人づくりを推進する。また、児童・生徒の家庭や地域における奉仕活動、福祉活動など豊かな体験活動を支援し、社会参加を促進するなど地域活動の充実に取り組む。

2. 市立学校一覧

(1) 小学校

(平成27年5月1日)

校 名	児 童 数	職 員 数	学 級 数		校 舎		面 積		教 室 数		体 育 館	創 立 年
			通 常	特 支	計	鉄 コンクリート	鉄 骨 木	造 普	通 特	別	面 積	
	人	人			m ²	m ²	m ²	m ²			m ²	
城 東 小	324	26	12	2	5,716	5,629	87	0	14	19	1,050	明 19
城 西 小	407	29	13	2	3,835	3,786	49	0	16	10	990	明 26
城 南 小	878	47	27	7	6,119	5,961	158	0	36	8	1,067	明 8
平 田 小	238	25	9	2	4,224	4,184	40	0	14	13	750	昭 54
城 北 小	260	21	11	2	3,098	3,000	98	0	15	7	556	明 25
佐和山小	572	35	19	4	5,495	5,404	91	0	21	14	751	明 26
旭 森 小	757	41	23	5	7,623	7,591	32	0	28	16	1,215	明 6
城 陽 小	264	26	11	3	4,806	4,806	0	0	15	13	948	昭 43
若 葉 小	207	19	7	2	5,433	5,417	16	0	11	16	885	平 8
金 城 小	652	37	21	6	5,359	5,306	53	0	26	12	750	昭 50
鳥居本小	123	17	6	4	3,086	3,053	0	33	9	11	562	明 19
河 瀬 小	481	30	16	3	4,702	4,529	173	0	18	13	750	明 22
亀 山 小	146	16	6	2	3,759	3,699	60	0	8	12	550	明 24
高 宮 小	506	37	18	3	5,082	5,006	76	0	21	13	750	明 6
稲枝東小	410	25	13	3	3,879	3,851	28	0	18	8	985	明 22
稲枝西小	112	18	6	3	2,996	2,931	65	0	9	9	560	明 41
稲枝北小	97	16	6	2	2,950	2,868	82	0	7	9	552	明 23
計	6,434	465	224	55	78,162	77,021	1,108	33	286	203	13,671	

(2) 中学校

(平成27年5月1日)

校 名	生 徒 数	職 員 数	学 級 数		校 舎		面 積		教 室 数		体 育 館	創 立 年
			通 常	特 支	計	鉄 コンクリート	鉄 骨 木	造 普	通 特	別	面 積	
	人	人			m ²	m ²	m ²	m ²			m ²	
東 中	756	47	22	3	9,368	9,368	0	0	26	24	2,130	昭 22
西 中	294	25	10	3	4,602	4,199	32	371	13	16	1,108	昭 22
中 央 中	539	38	17	4	6,209	5,768	441	0	21	19	1,210	昭 58
南 中	855	53	26	3	7,402	7,312	90	0	27	19	1,381	昭 22
彦 根 中	402	32	13	2	5,666	5,606	60	0	15	20	1,254	昭 62
鳥居本中	63	13	3	1	2,916	2,500	416	0	5	13	706	昭 22
稲 枝 中	364	29	12	2	5,474	5,340	134	0	14	20	1,853	昭 22
計	3,273	237	103	18	41,637	40,093	1,173	371	121	131	9,642	

(教職員数)

(1) 小学校

(平成27年5月1日)

校 名	本務者		養護	県事	栄養	市費支弁 の教員	調理	用務	計
	男	女							
城 東 小	人 6	人 13	人 1	人 1	人	人	人 4	人 1	人 26
城 西 小	8	13	1	1			5	1	29
城 南 小	14	27	2	2	1		0	1	47
平 田 小	8	10	1	1			4	1	25
城 北 小	5	13	1	1			0	1	21
佐和山小	12	19	1	1	1		0	1	35
旭 森 小	12	24	1	2	1		0	1	41
城 陽 小	6	13	1	2			3	1	26
若 葉 小	5	8	1	1			3	1	19
金 城 小	12	21	1	1	1		0	1	37
鳥居本小	5	9	1	1			0	1	17
河 瀬 小	12	14	1	1	1		0	1	30
亀 山 小	4	7	1	1			2	1	16
高 宮 小	11	17	1	1			6	1	37
稲枝東小	9	12	1	1	1		0	1	25
稲枝西小	5	8	1	1			2	1	18
稲枝北小	5	6	1	1			2	1	16
計	139	234	18	20	6	0	31	17	465

(2) 中学校

(平成27年5月1日)

校 名	本務者		養護	県事	栄養	市費支弁 の教員	調理	用務	計
	男	女							
東 中	人 26	人 15	人 2	人 2	人	人 1	人	人 1	人 47
西 中	10	11	1	1		1		1	25
中 央 中	23	12	1	1		0		1	38
南 中	29	18	2	2		1		1	53
彦 根 中	17	10	1	1	1	1		1	32
鳥居本中	5	4	1	1		1		1	13
稲 枝 中	15	11	1	1		0		1	29
計	125	81	9	9	1	5	0	7	237

3. 児童・生徒数

(平成27年5月1日)

種別 \ 区分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
	人	人	人	人	人	人	人
小学校	1,091	1,056	1,073	1,037	1,060	1,117	6,434
中学校	1,075	1,105	1,093				3,273

4. 就学援助費の給付

(平成26年度)

	区 分	1人当たり給付額(円)	人員(人)	給 付 額
学用品通学用品費	小学校	13,812	829	11,450,282
および校外活動費	中学校	23,747	520	12,348,890
学校給食費	小学校	42,227	833	35,175,906
	中学校	47,935	51	2,444,695
修学旅行費	小学校	15,073	165	2,487,167
	中学校	56,714	168	9,528,050
医療費	小学校	5,044	88	443,880
	中学校	6,090	30	182,720
新入学児童生徒	小学校	20,470	107	2,190,290
学用品費等	中学校	23,683	176	4,168,350
自転車・ヘルメット購入費	中学校	11,773	73	859,460
高等学校入学支度金	26年度卒業	20,000	175	3,500,000

生涯学習

1. 平成27年度の目標

国際化、情報化、少子高齢化等めまぐるしく変化する社会状況のもとで、余暇時間の増大等に伴い、市民の学習ニーズは高度化、多様化し一層専門性が求められるようになってきている。

こうした中で、公民館をはじめ社会教育施設等において、市民ニーズに応じた各種講座の開催、各世代に対応した体系的な学習機会の拡充やインターネット等による情報の収集・提供などを行うことにより、多くの人が気軽に参画し、学習意欲の向上を図るためのきっかけづくりと、学んだことを生かして、誰もが夢や生きがいを持って、社会参加できる持続可能な町づくりを積極的に進める。

また、青少年がそれぞれの発達段階に応じて、心豊かでたくましく自らの個性を生かし、社会との連帯感にあふれる人間として成長してくれることを願い、関係団体等の協力・連携のもと、青少年が自然体験・社会体験・生活体験をする機会を設け、自ら気づき、考え、行動し、判断力・連帯感・協調性等を養い主体的に活動できる青少年の健全育成に努める。

○ 生涯学習の推進

生涯学習を推進するため、各地区公民館において市民ニーズに応じた各種講座を開設する。また、地域全体で学校教育を支援する学校支援地域本部事業や、地域に根ざした科学等の教育環境を創出するため、彦根市サイエンスプロジェクトを推進する。さらに、生涯学習人材バンクの充実など生涯学習にかかる情報や学習機会の提供などに努める。

○ 社会教育の推進

社会教育を推進するため、各地区公民館を拠点として現代的課題に応じた講座の開催や、事業の展開を図るとともに、これからの時代に求められる社会教育活動の基盤整備に努める。また、地域住民の様々な学習活動を支援し、社会参加を促進するなど社会教育活動を推進する。さらに、地域に根ざした社会教育関係団体や自主的な学習サークル・グループなどの育成に努める。

○ 人権教育の推進

豊かで民主的な地域社会の形成をめざすため、生涯を通じての家庭や地域の生活課題と結びつく学習の重要性を認識し、自主的・自発的な学習活動を中心に各種の社会活動を通じて、部落差別をはじめとするあらゆる人権問題の理解と認識を深め、確かな人権意識の高揚を図り、共に生きる社会づくりに努める。

○ 放課後児童クラブの運営

保護者等の就労その他の事情により、昼間保護者のいない家庭の小学校に就学している児童等に対して、遊びと生活の場を提供し、保育を中心とした指導を行う。

【実施期間】 4/1～3/31（日、祝日、年末年始(12月29日から翌年1月3日まで)、夏季（8月13日～8月15日まで）は除く。）

【実施時間】 午後1時～午後6時30分（ただし、学年末・学年始休業時、夏季休業時、冬季休業時は、午前8時～午後6時30分）

【指導員】 各放課後児童クラブについて、児童数25人までは指導員2人、児童数26人～40人は3人、児童数41人～55人は4人、児童数56人～70人は5人、児童数71人以上は6人を配置（障害児加配あり）

【開設場所】 城東・城西・平田・佐和山・城陽・若葉・鳥居本・河瀬・亀山・稲枝西・稲枝北の各小学校区では、学校内の余裕教室を借用
稲枝東小学校区では専用棟を利用
城南・城北・旭森・金城・高宮の各小学校区では学校内の余裕教室と専用棟を併用
(城陽・鳥居本・亀山・稲枝西は公益社団法人に委託、城東・城西・平田・城北・佐和山・旭森・金城はNPO法人に委託)

2. 平成26年度の実績（主なもの）

○ 生涯学習の基盤整備を図り、学習活動の支援に努めた。

- ① 学習情報の提供
- ② 生涯学習の啓発
- ③ 彦根市サイエンスプロジェクトの推進
- ④ 学校支援地域本部事業の推進
- ⑤ 淡海生涯カレッジ彦根校の開設

○ 社会教育の充実を図り、指導者の養成に努めた。

- ① 社会教育委員の会議の開催
- ② 社会教育指導体制の整備(社会教育指導員の設置)
- ③ 高齢者教育の促進
- ④ 公民館活動の充実
- ⑤ 各種社会教育関係団体の育成と活動支援
- ⑥ 彦根ユネスコ協会活動への支援

○ 青少年の健全育成に努めた。

- ① 地域子ども教室の開設
- ② 新成人のつどいの開催
- ③ 彦根市中学生広場の開催
- ④ 青少年団体の育成と青少年活動の促進
- ⑤ 少年リーダー・青年リーダーの養成

○ 人権教育を積極的に推進し、人権を尊重する意識の高揚を図った。

- ① 社会教育関係団体の人権教育の推進
- ② 地区別人権学習会の開催

○ 地区公民館の整備および各種事業を推進した。

- ① 稲枝地区公民館、西地区公民館の耐震等改修工事の実施
- ② 自主講座(福寿大学、さざなみ学級等)の推進
- ③ 地域社会教育関係団体自主活動の促進

○ 放課後の子どもの居場所づくりに努めた。

- ① 放課後児童クラブの運営
- ② 放課後子ども活動支援懇談会の開催

彦根市公民館一覧表

(平成27年4月1日現在)

公民館名	所在地	構造階層	延面積	建設年月	創設年月	室数
稲枝地区公民館	本庄町60	鉄骨造2階	669.49	S56. 3	S56. 4	7
西地区公民館	本町一丁目9-1	〃	500.55	S56. 3	S56. 4	5
東地区公民館	大東町1-26	〃	505.70	S57. 3	S57. 5	6
旭森地区公民館	正法寺町642-1	〃	698.12	S58.12	S59. 1	9
河瀬地区公民館	森堂町131	〃	492.85	S59. 6	S59. 6	5
中地区公民館	大藪町2610	鉄骨造平屋	527.47	S63. 4	S63. 4	6
鳥居本地区公民館	鳥居本町1491-6	鉄骨造2階	748.46	H 6. 4	H 6. 4	7
南地区公民館	甘呂町1321-1	鉄骨造平屋	776.18	H 9. 4	H 9. 4	7

放課後児童クラブ利用児童数

(平成 27 年 4 月現在)

学校名	城東	城西	城南	平田	城北	佐和山	旭森	城陽	若葉	金城
利用人数	人 68	人 57	人 143	人 23	人 34	人 87	人 103	人 38	人 44	人 104

学校名	鳥居本	河瀬	亀山	高宮	稲枝東	稲枝西	稲枝北	合計
利用人数	人 28	人 95	人 40	人 80	人 51	人 38	人 8	人 1,041

文 化 振 興

1. 平成27年度の目標

本市の豊かな伝統文化の継承と発展や、市民の主体的な文化芸術活動の支援に努めるとともに、多面的な交流を促進する文化事業の充実や多様な文化芸術活動の一層の振興を図る。また、文化振興の拠点施設として、ひこね市文化プラザ等の文化施設の充実を図る。

2. 平成26年度の実績（主なもの）

○ 市民の文化芸術活動の促進

① 第64回 文化祭（春・秋）の開催（行事数 春33件・秋53件 計86件）

② 第50回 市民文芸作品

（単位：点）

部 門	応募作品数	特 選	入 選	佳 作
俳 句	327	3	12	43
短 歌	226	3	6	31
川 柳	174	3	6	22
冠 句	204	3	6	27
詩	24	3	4	5
随筆・評論	19	3	4	4
小 説	4	1	1	1
計	978	19	39	133

③ 第63回 彦根市美術展覧会

会 期：平成26年9月15日（月・祝）～9月21日（日）＜6日間＞

会 場：ひこね市文化プラザ メッセホール棟、第1リハーサル室、第2リハーサル室

（単位：点）

部 門	一般応募数	市展賞	特 選	佳 作	入 選	無鑑査奨励賞
日 本 画	41	1	3	2	35	1
洋 画	80	1	7	3	69	1
彫 刻	11	1	1	1	8	1
美術工芸	40	1	3	3	33	1
書	69	1	4	4	52	1
写 真	150	1	8	3	79	1
計	391	6	26	16	276	6

※次世代芸術奨励賞（佳作以上に入賞された29歳以下の方）2名

④ 彦根市美術展覧会 第4回 中学生・高校生特別展「～ガンバルひこねの生徒たち～」

会 期：平成27年2月6日（金）～2月8日（日）＜3日間＞

会 場：ひこね市文化プラザ メッセホール、第1研修室、第2研修室、第3研修室、視聴覚室、展示ロビー、サロン

出品数：241点（8中学校、7高等学校）

⑤ 市民会館舞台練習場の提供 (使用登録団体：16 団体)

⑥ 第 7 回 直弼杯囲碁・将棋大会 (単位：人)

部 門	期 日	会 場	一 般	小・中学生	計
将 棋	10 月 11 日 (土)	彦根商工会議所	77	56	133
囲 碁	1 月 24 日 (土)	彦根商工会議所	112	18	130
計	—	—	189	74	263

⑦ ひこにゃん子ども文化芸術大賞 (単位：人)

	小学生	中学生	計
ひこにゃん子ども文化芸術大賞	48	40	88
ひこにゃん子ども文化芸術賞	78	63	141
計	126	103	229

⑧ 第 5 回 ひこね子ども文芸作品 (単位：点)

部 門	応募作品数		特 選	準特選	佳 作	入 選
短 歌	小学生	549	4	7	13	24
	中学生	564	2	4	11	20
俳 句	小学生	2,927	7	17	35	80
	中学生	1,748	3	7	15	28
川 柳	小学生	2,002	6	14	30	70
	中学生	1,206	3	7	15	28
詩	小学生	383	6	15	27	38
	中学生	10	1	1	1	1
計	小学生	5,861	23	53	105	212
	中学生	3,528	9	19	42	77

⑨ 夏休み文芸ワークショップ (会場：ひこね市文化プラザ) (単位：人)

部 門	期 日	会 場	一 般	小・中学生	計
川 柳	7 月 26 日 (土)	第 3 研修室	9	11	20
詩	8 月 2 日 (土)	第 3 研修室	8	14	22
短 歌	8 月 9 日 (土)	第 3 研修室	6	10	16
俳 句	8 月 23 日 (土)	第 3 研修室	9	12	21
計	—	—	32	47	79

市 民 会 館

1. 施設の概要

設 置 場 所	彦根市尾末町 1 番 38 号
起 工	昭和 38 年 3 月 30 日
竣 工	昭和 39 年 6 月 30 日
敷 地 面 積	6,064 m ²
建 物 面 積	3,329 m ²
建設延面積	6,615 m ²
建 物 構 造	鉄筋コンクリート造 地下 1 階 地上 2 階 一部 3 階
総 工 費	290,000 千円

《会議室》

第 1 会 議 室	収容人員 50 人 (77 m ²)
第 2 会 議 室	収容人員 50 人 (77 m ²)
第 3 会 議 室	収容人員 50 人 (77 m ²)
料 理 教 室	収容人員 30 人 (70 m ² 、5 キッチンセット)
ギャラリーA	130 m ² 壁面長：固定壁 17.5m・パネル（可動式・標準仕様時）32.4m
ギャラリーB	84 m ² 壁面長：固定壁 25.0m・パネル（可動式・標準仕様時）7.2m
舞 台 練 習 場	間口 18m・奥行 11m

2. 利用状況（平成 26 年度）

区 分	利用日数	利用件数	利用者数
第 1・2・3 会議室	326 日	858 件	15,506 人
料 理 教 室	14 日	14 件	369 人
ギャラリーA・B	138 日	229 件	7,762 人
舞 台 練 習 場	306 日	626 件	10,568 人
合 計	784 日	1,727 件	34,205 人

ひこね市文化プラザ

1. 施設の概要

設置場所	彦根市野瀬町 187 番地 4
起工	平成 7 年 7 月 3 日
竣工	平成 8 年 11 月 29 日
敷地面積	42,538 m ²
建物面積	8,050.59 m ²
延床面積	13,812.63 m ²
	グランドホール棟 8,934.50 m ²
	エコーホール棟 2,029.25 m ²
	メッセホール棟 2,848.88 m ²
建物構造	グランドホール棟 鉄筋コンクリート造ほか 地下 1 階、地上 4 階建 エコーホール棟 鉄筋コンクリート造ほか 地上 3 階建 メッセホール棟 鉄骨鉄筋コンクリート造ほか 地上 5 階
駐車場	約 800 台
駐輪場	約 200 台
総事業費	7,500,000 千円（用地費含む）
管理運営	指定管理者 株式会社ケイミックス（平成 26～30 年度）

《グランドホール》

客席	1,480 席（椅子固定席 1,470 席、車椅子席 10 席、別に親子室 1 室）
舞台設備	舞台 間口 18.0m（音響反射板使用時 24.5m） 高さ 9.0m（音響反射板使用時 14.0m） 奥行 17.2m 美術バトン（電動 3 本、手動 15 本） 走行式音響反射板、同時通訳ブース 2 室、緞帳 1 基、スクリーン 1 基、ピアノ 2 台（スタインウェイ D-274、ヤマハ CF）、中迫り 1 基、オーケストラピット迫り 1 基、照明設備総容量 500KVA プロジェクター 1 基、16mm 映写機 1 基、スライド映写機 1 基 残響時間 1.6 秒（空席）、音響反射板使用時 2.5 秒（空席）

《エコーホール》

客席	最大 346 席（椅子固定席 197 席、移動席 149 席、別に親子室 1 室）
舞台設備	舞台 可動舞台 間口 13.7m 高さ 10.7m 奥行 7.0m 美術バトン（電動 2 本）、同時通訳ブース 2 室、スクリーン 1 基、ピアノ 2 台（スタインウェイ D-274、ベーゼンドルファーモデル 275）、デジタルピアノ 1 台（カワイ HA-8）、照明設備総容量 100KVA プロジェクター 1 基、16mm 映写機 1 基、スライド映写機 1 基 （各メッセホール兼用）
映写設備	
残響時間 [可変]	ライブ形式 1.7 秒（空席）、デット形式 1.4 秒（空席）

《メッセホール》

客席	最大 270 席（全席移動席、面積 257.3 m ² ）
舞台設備	舞台 仮設式舞台 間口 9.6m 高さ 5.6m 奥行 2.4m～3.8m 多目的バトン（電動 6 本）、照明設備総容量 75KVA、ピアノ（ヤマハ UX300）1 台
展示設備	移動式展示パネル

《研修室等》

第 1 研修室	収容人員 22 名
第 2 研修室	収容人員 54 名（半面使用時 22 名）
第 3 研修室	収容人員 54 名（半面使用時 22 名）
和室研修室	8 畳×2 間
特別会議室	収容人員 16 名
視聴覚室	収容人員 42 名 設備 プロジェクター 1 基、16mm 映写機 1 基、スライド映写機 1 基

《リハーサル室》

第1リハーサル室 221.2 m²
設備 壁面鏡、バレエ用手すり、ピアノ（ヤマハC6）1台
第2リハーサル室 70.0 m²

《楽 屋》

グランドホール専用 第1楽屋、第2楽屋、第3楽屋、第4楽屋、第5楽屋
グランドホール、エコーホール共用 第6楽屋、第7楽屋
エコーホール専用 第8楽屋、第9楽屋、第10楽屋

《展示ロビー》 約50 m²

《その他施設》 託児室、医務室、団体活動室（2室）ほか

2. 利用状況（平成26年度）

区 分	利用日数	利用件数	利用者数
グランドホール	197 日	123 件	105,502 人
エコーホール	194 日	158 件	28,127 人
メッセホール	187 日	124 件	22,378 人
楽屋(第1～10楽屋)	921 日	712 件	12,573 人
第1リハーサル室	147 日	110 件	10,036 人
第2リハーサル室	248 日	270 件	6,491 人
特別会議室	74 日	57 件	732 人
視聴覚室	121 日	95 件	3,755 人
和室研修室	132 日	119 件	2,127 人
第1・2・3研修室	687 日	744 件	21,654 人
展示ロビー	86 日	22 件	4,414 人
合 計	2,994 日	2,534 件	217,789 人

高宮地域文化センター

1. 施設の概要

設 置 場 所	彦根市高宮町 2311 番地
起 工	昭和 63 年 10 月
開 館	平成元年 4 月 1 日
敷 地 面 積	2,864.40 m ²
構 造	鉄骨造 2 階建
延 床 面 積	1,033.96 m ²
	当初 988.42 m ²
	増築（和室 2） 45.54 m ²
駐 車 場	22 台
工 事 費	209,300,000 円
利 用 施 設	ホール、会議室、和室、調理実習室、練習室、図書室

《ホール》

客 席	収容人員	300 人	215.0 m ² (17.2m×12.5m)
舞 台	62.5 m ²	間口：12.5m	奥行：5.0m

《会議室》

第 1 会議室（1 階ロビー）

第 2 会議室 収容人員 20 人 (35.0 m² 7.0m×5.0m)

第 3 会議室 収容人員 20 人 (31.5 m² 4.5m×7.0m)

《和室》

和室 1 収容人員 20 人 (22.5 畳)

和室 2 収容人員 20 人 (21.5 畳)

《調理実習室》 調理台 6 台

《練習室》 収容人員 50 人 (74.9 m² 7.0m×10.7m)

《図書室》 収容人員 10 人 (22.5 m² 4.5m×5.0m)

2. 利用状況（平成 26 年度）

区 分	利用件数	利用者数
ホ ー ル	213 件	8,954 人
第 1・2・3 会議室	434 件	3,160 人
和 室 1・2	99 件	1,199 人
調 理 実 習 室	27 件	361 人
練 習 室	153 件	1,912 人
図 書 室	47 件	260 人
合 計	973 件	15,846 人

みずほ文化センター

1. 施設の概要

設 置 場 所	彦根市田原町 11 番地
起 工	平成 10 年 2 月 24 日
開 館	平成 11 年 4 月 1 日
敷 地 面 積	2,051.65 m ²
建 築 面 積	1,300.07 m ²
延 床 面 積	1,511.33 m ²
	本 棟 1,494.33 m ²
	自転車置場 17.00 m ²
規 模・構 造	鉄筋鉄骨コンクリート造地上 2 階
駐 車 場	約 245 台
駐 輪 場	約 20 台
利 用 施 設	多目的ホール、練習室、楽屋、展示コーナー、その他

《多目的ホール》

客 席	403 席（固定席 53 席、電動移動席 240 席、移動席 108 席、身障者席 2 席）
舞 台 設 備	間口：10m 高さ：6m 奥行：7m 舞台高：60cm 緞帳 1 基、スクリーン 1 基、美術バトン 3 本 ピアノ（セミコンサート）1 台、簡易音響反射板一式
映 写 設 備	プロジェクター 1 基、OHP 1 基、OHC 1 基、スライド映写機 1 基、VTR

《練習室》

施 設 規 模	49 畳 (練習室(1)：17.5 畳舞台付 練習室(2)：17.5 畳 練習室(3)：14 畳)
設 備	姿見 2 台、長机 22 脚、VTR 1 台、ホワイトボード大・小各 1 台
小 舞 台 設 備	間口：6.6m 高さ：2.2m 奥行：1.9m 舞台高 20cm

《楽屋》 多目的ホール使用のとき優先、29 m²、化粧台付き

《展示コーナー》 約 44 m²

《その他施設》 授乳室

2. 利用状況（平成 26 年度）

区 分	利用件数	利用者数
ホ ー ル	89 件	11,977 人
楽 屋	52 件	550 人
練 習 室 1	211 件	2,465 人
練 習 室 2	195 件	2,124 人
練 習 室 3	194 件	1,262 人
展 示 コーナー	7 件	256 人
合 計	748 件	18,634 人

保 健 体 育

1. 学校保健体育・学校安全

(1)学校体育

2024 年開催予定の第 79 回国民体育大会に向け、本市から多くの選手が出場できるよう、研究会や講習会を開催し教育課程の研究を深めて教科体育指導の充実を図る一方、総則体育に示されている全校ぐるみの活動を実施したり基礎的な運動の全市的な大会を開催したりするなどして、生涯にわたって運動に親しむための資質や能力を育てるとともに健康の保持増進と体力の向上に努めている。特に、中学校においては運動部活動を奨励し、外部指導者を活用するなどして活動を活発化し、体力の向上や健康の増進、好ましい人間関係を育てるよう努めている。

(2)学校保健

定期健康診断の充実を図り、児童・生徒の健康状態を把握し、教育・医学的な事後措置を行っている。

特に、心臓検診、結核検診、生活習慣病予防対策事業および歯・口の健康づくり推進事業においては、専門医からの指導・助言をいただきながら児童・生徒の健康増進に努めている。

心の健康にも力を入れ、心身ともに健やかな児童・生徒の育成をめざして取り組んでいる。

(3)学校安全

子どもたちへの不審者による悲惨な事件があとを絶たない状況を踏まえ、子供たちが安全に安心して暮らせるよう、各校、関係機関、地域の関係団体と連携し、こどもを見守る活動を進めている。

また、学校では防犯を含む生活、交通、災害それぞれの領域について、安全管理のための取組を進める必要があり、指導者の危機意識を高め、児童生徒の安全意識を高めるため、実践的安全教育を進めている。

児童・生徒の体格（全国平均と彦根市平均の比較）

（平成 26 年度ただし、全国平均は平成 25 年度）

年齢	区分	項目 性別	身 長 (cm)		体 重 (kg)		座 高 (cm)	
			男	女	男	女	男	女
6	全	国	116.6	115.6	21.3	20.9	64.8	64.4
	彦	根 市	116.4	115.5	21.3	20.7	65.0	64.6
8	全	国	128.2	127.3	27.1	26.4	70.2	69.9
	彦	根 市	128.3	128.8	26.7	26.6	70.1	70.7
10	全	国	139.0	140.1	34.3	34.0	75.0	75.8
	彦	根 市	138.9	140.4	33.5	33.7	74.9	75.8
12	全	国	152.3	151.8	43.9	43.7	81.2	82.1
	彦	根 市	152.8	152.0	43.9	43.3	81.7	82.2
14	全	国	165.0	156.5	54.0	49.9	88.1	84.9
	彦	根 市	165.7	156.2	54.5	48.7	87.9	84.8

2. 生涯スポーツ

生活水準の向上や余暇時間の増大、仕事中心から生活重視へと価値観が変化するなど社会環境の変化により、人々のスポーツ活動に対する欲求、関心は高まりつつあり、そのニーズも多様化している。そのために、市民のだれもが、いつでも・どこでも気軽にスポーツに親しみ、健康で明るく豊かな生活が送れるようスポーツ・レクリエーションの振興に努めている。

(1) 体力づくり諸事業の実施

- ① ニュースポーツの普及を兼ねた学区スポーツ大会（参加者 約 800 人）
- ② 元気フェスタ 2014（台風接近により中止）
- ③ 第 28 回彦根シティマラソン（参加者 3,596 人）

(2) スポーツの普及

- ① スポーツ推進委員（43 人）の資質向上と活動の充実
（ふれあいグラウンド・ゴルフ交流会、彦根市ファミバド交流会、スーパーカラム大会開催等）
- ② 学校体育施設の開放（小学校 17 校、中学校 7 校の運動場・体育館）
- ③ 稲枝地区体育館 利用件数 431 回、利用者 6,820 人
- ④ 武道場 利用件数 625 回、利用者 11,365 人
- ⑤ 弓道場 利用件数 360 回、利用者 7,545 人
- ⑥ 市立学校運動場照明設備 利用件数 79 回、利用者 3,409 人

学校給食センター

1. 施設の概要

設置場所	彦根市安食中町 380 番地
竣工	平成 27 年 3 月 28 日
敷地面積	10,606.41 m ² (彦根総合地方卸売市場(株)からの借地)
建物延面積	2,690.90 m ² (不動産登記簿面積)
建物構造	鉄骨造 2 階建
総工費	1,855,016 千円
事業概要	湖東定住自立圏共生ビジョンに基づき、彦根市立中学校・豊郷町立中学校・甲良町立小・中学校への学校給食の調理・配送を行っている。

給食供給対象校

彦根市立	東中学校、西中学校、中央中学校、南中学校、彦根中学校、鳥居本中学校、稲枝中学校
豊郷町立	豊日中学校
甲良町立	甲良東小学校、甲良西小学校、甲良中学校
9 中学校、2 小学校 計 11 校	

2. 学校給食

目的	・児童生徒が生涯にわたって健全な心身を培い豊かな人間性を育むことができるよう、学校給食を提供する。 ・安全・安心な学校給食を提供するため「学校給食衛生管理基準」に基づき、衛生管理の徹底を図る。 ・新鮮で安全・安心な食材の確保を図り、地域の自然や食文化、産業への理解の促進を図るため地場農産物を積極的に取り入れる。
小学校給食	市立小学校全 17 校において、学校施設内の給食室で学校給食を調理し、児童への給食提供を実施している。
中学校給食	平成 27 年 4 月より、市立全 7 中学校生徒への学校給食提供を開始している。 彦根市学校給食センターで一括調理を行い、配送車により各中学校へ届け、生徒へ給食を提供している。

市民体育センター

1. 施設の概要

設置場所	彦根市松原町 3751 番地 7
竣工	昭和 55 年 7 月 12 日
敷地面積	11,146.81 m ²
建物面積	4,405.02 m ²
建設延面積	4,749.61 m ²
建物構造	鉄筋コンクリート造 2 階建
総工費	823,303 千円
第 1 競技場	48m×38m=1,824 m ² バレーコート 3 面 バスケットコート 2 面 卓球 24 面 ハンドボールコート 1 面 バドミントンコート 10 面 テニスコート 3 面
第 2 競技場	23.5m×16.7m=392 m ² バレーコート 1 面 バドミントンコート 3 面 卓球 6 面
トレーニング室	96 m ²
会議室	169 m ² ・120 名

2. 利用状況（平成 26 年度）

区 分		第 1 競技場	第 2 競技場	トレーニング室	会議室	合 計
団 体	利用日数	296 日	272 日	81 日	138 日	787 日
	利用件数	685 件	532 件	124 件	171 件	1,512 件
	利用者数	52,902 人	18,464 人	1,108 人	4,742 人	77,216 人
個 人	利用者数	626 人		182 人	—	808 人

3. スポーツ教室

市民体育センターでは市民の体育・スポーツの日常化、普及推進を図るため各種スポーツ教室を開催している。

スポーツ教室受講者数(平成 26 年度)

教室名 \ 開催時期	春期(4月～8月)	秋期(9月～12月)	冬期(1月～3月)	合計
親子体操教室	15 組	15 組	—	30 組
チビッコ体操教室 (4 歳児)	60 人	62 人	—	122 人
チビッコ体操教室 (5 歳児)	69 人	69 人	—	138 人
ジュニアスポーツ教室	37 人	26 人	—	63 人
フィットネス教室①	38 人	36 人	40 人	114 人
フィットネス教室②	40 人	49 人	45 人	134 人
フィットネス教室③	17 人	18 人	17 人	52 人
フィットネス教室④	27 人	36 人	—	63 人
フィットネス教室⑤	70 人	70 人	70 人	210 人
フィットネス教室⑥	23 人	25 人	28 人	76 人
スマイルダイエット教室	21 人	25 人	—	46 人
シニア健康体操教室	88 人	82 人	70 人	240 人

人 権 教 育

人権教育は、人権尊重の涵養を目的とする教育活動を意味し、国民がその発達段階に応じ、人権尊重の理念に対する理解を深め、これを体得できるようにすることをねらいとする。そして「人権が尊重されるまち彦根をつくる条例」を踏まえながら、部落差別をはじめあらゆる差別をなくし、市民一人ひとりの人権意識の高揚を図るとともに、人権擁護に努め、人権を尊び愛情あふれるまちづくりの実現をより一層推進する。

1. 人権教育推進体制の整備

- ア 人権教育推進委員会の設置
- イ 人権教育指導員の配置

2. 人権教育の総合推進

- ア 彦根市人権教育研究大会の開催
- イ 人権教育指導者育成講座の開講
- ウ 人権教育指導資料の作成と有効活用
- エ 人権問題通信講座の開設
- オ 『差別をなくし人権を尊ぶ彦根市青年集会』、『差別をなくし人権を尊ぶあなたと私のつどい』の開催
- カ 学校（園）における人権教育に関わる各種研究、研修会の開催
- キ 社会教育関係団体等指導者人権教育研修会の開催
- ク 人権に関わる各種研究大会や講座への参加

3. 地域総合センターの取組

- ア 小・中学生のための学習会、講座、人権学習会の開催
- イ 青年・成人・高齢者のための人権学習会・教養講座の開設
- ウ 社会教育関係団体の育成
- エ 教育、進路相談の充実
- オ 高校生等交流集会の開催
- カ 子育て相談、講演会の開催
- キ 自尊感情・学びの礎育成プロジェクト事業の実施
- ク 児童・生徒の不登校、長欠、中退等への対応
- ケ 現地研修会の受入れ

教育研究所

平成27年度の目標

- ◎ 本市教育の現状や目標に基づく教育課題について調査研究を行い、その成果を各校園に提供する。
- ◎ 教育相談活動を推進し、幼児・児童・生徒の適応力の向上に努める。
- ◎ 教職員の指導力向上のための研修の場として運営の充実に努める。
- ◎ 教育実践研究の奨励と向上を図り、研修意欲と資質の高揚に努める。

平成27年度の事業計画

□今日的な教育課題の先導的・実践的調査研究

- 科学教育に関する調査研究 ー自然体験や観察・実験を通して科学的な見方や考え方を養うためにー (3年次)
- 体力向上に関する調査研究 ー子どもたちの体力向上についての効果的な指導の在り方を求めてー (1年次)
- 英語活動に関する調査研究 ー小学校外国語から中学校英語科への円滑なつながりを目指してー (1年次)
- 人権教育に関する調査研究 ーいじめを許さない人間力の育成を目指してー (2年次)

□調査研究の発表

- 調査研究発表会・教育講演会
- 研究紀要の刊行

□教育相談活動の推進

- ともづなカウンセリング事業
 - ・訪問教育相談員による相談援助 (市内各幼稚園・小中学校)
 - ・スーパーバイザーによる相談援助 (個人面談、親の会)
 - ・中学校区教育相談研修会 (年6回) ・幼稚園教育相談研修会 (年1回)
- 悩みの相談事業
 - ・「子どもと親の悩みの相談電話」 (月・水 14:00～17:00)
 - ・「子育て相談電話」 (月～金 10:00～12:00、13:00～16:00)

□適応指導教室「オアシス」の運営

- 学校復帰や社会的自立への活力を高めるための様々な体験活動や個に応じた活動
 - ・月～金曜日に開室 (対象は小学校4年生以上の児童と中学校生徒)
 - ・「オアシス」親の会 ・「オアシス」教師の会

□青年教員の指導力向上のための研修

- 青年教員研修 一部研修 (1年次) 8回
(生徒指導研修・人権教育研修・学童保育教室／放課後児童クラブ実習・班別授業研修 等)
- 青年教員研修 二部研修 (2・3年次) 6回
(教育相談研修・教育実践研修・班別授業研修 等)

□教職員の指導力向上のための研修

- 学校カウンセリング基礎講座 (5回)
- 学校カウンセリング実践講座 (5回)
- ステップアップ研修講座「学力向上」「子どものこころ理解」「特別支援教育」
- 教職員授業実践力向上講座「読書活動に関する講座」・「郷土学習に関する講座」 (各5回)

□教育実践研究の奨励

- 教職員の個人・共同研究の奨励
- 研究論文集録の刊行

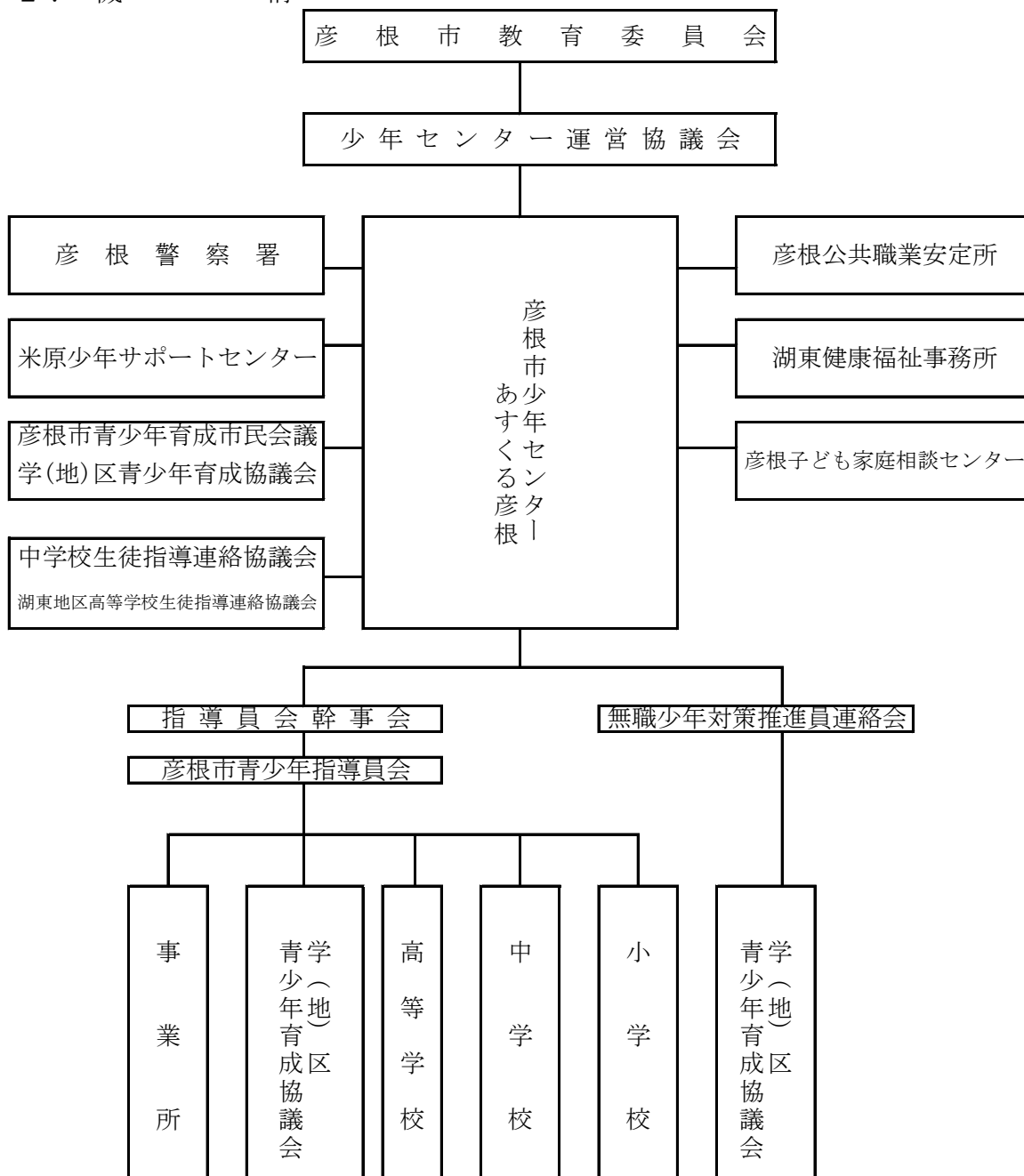
□「研究所だより」の発行 (年4回)

少年センター

1. 目的

- 「青少年は地域から育む」ことを目指し、青少年指導員を中心として青少年の非行防止と環境浄化活動に取り組み、青少年の健全育成に努める。
- 無職少年対策の取り組みとともに、「あすくる彦根」による非行等の立ち直り支援を行う。また、中学校・高等学校訪問を通じて、非行等の未然防止に取り組み、個別の相談活動や学習支援を行う。
- 青少年の健全育成にかかる関係機関との連携と啓発に努め、指導員や支援サポーター等の研修の充実を図り、資質の向上に努める。

2. 機構



3. 重点事業

事業名	事業内容
1. 青少年の非行防止と健全育成	1. 街頭補導活動（問題行動の早期発見と未然防止） ①合同街頭補導（青少年指導員会との連携、日常的に実施） ②特別街頭補導（高等学校、彦根署、近隣センターとの連携、年間数十回実施）、（青少年指導員会補導部との連携、年間数回実施） ③所員パトロール（計画的に実施） ④地域ぐるみの補導と地区街頭補導（長期休業中に小学校区別に実施） 2. 青少年の健全育成活動（居場所づくり・環境づくり） ①“小・中学生との交流活動”（地域主導）の推進 ②中学生対象の活動から小学生を巻き込んだ活動への拡充・拡大
2. 無職少年対策	1. 少年の自立・更生のための支援活動の推進 ①中学校・高等学校訪問の実施 ②無職少年対策推進員連絡会の開催 ③公共職業安定所等関係機関・団体との連携
3. 青少年立ち直り支援センター「あすくる彦根」の活動	1. 青少年の立ち直り、再非行防止のための支援 ①生活改善支援 ②自分探し支援 ③就学支援 ④就労支援 ⑤家庭支援 2. 青少年支援サポーターの有効活用および支援協力企業・事業主等との連携
4. 相談活動	1. 少年問題についての相談活動および継続指導の推進（来所、電話、メール相談の実施） 2. 情報や資料の収集、整備、保管 3. 警察署、子ども家庭相談センター、公共職業安定所との緊密な連携と協力
5. 薬物乱用防止活動	1. 少年に対し、生命はもとより社会や国の安全・安定を脅かす薬物乱用を防止するための普及・啓発（街頭・寸劇等） ①立て看板・ポスター等による啓発（市内小・中・高校） ②寸劇による啓発
6. 環境浄化活動	1. 書店等立入調査による有害図書、DVD、ビデオ等の陳列・販売指導および酒・たばこ等自動販売機の立入調査・販売指導 2. 麻薬・覚醒剤・大麻・シンナー・危険ドラッグ等、あらゆる薬物乱用防止のための啓発活動の推進 3. 地域ぐるみの環境浄化活動推進への支援 4. カラオケスタジオ、ゲームセンター、パチンコ店等への指導
7. 啓発活動	1. 啓発紙少年センターだより『きぼう』の発行（年1回、全戸配付） 2. 『あゆみ』の発行（少年センター活動のまとめ） 3. 街頭および寸劇等による啓発（非行防止、薬物乱用防止等）
8. 関係機関等との連携	1. 学（地）区青少年育成協議会、高等学校生徒指導連絡協議会との連携 2. 彦愛犬青少年対策連絡会議、滋賀県少年補導センター連絡協議会との連携 3. 各関係機関、小・中・高校および量販店ならびに商店街、書店連盟との連絡会 4. 小・中・高校PTA、警察署、子ども家庭相談センター、公共職業安定所、少年サポートセンター等との連携強化 5. 青少年支援サポーター、支援協力企業・事業主との連携と協力（あすくる）
9. 研修活動	1. 青少年指導員研修会の開催、センター職員の各種研修会への参加 2. 指導員の資質向上ならびに活動の充実を図る各ブロック別研修会の開催と新任研修会の開催 3. 青少年支援サポーターの資質向上を図る研修会の開催（あすくる）

教

育

4. 平成26年度街頭補導実施状況

項目 月	実施回数	出務状況		補導した少年の数	愛の呼びかけ人数
		指導員（補導員）	センター職員等		
4	23	57	29	6 (6)	183 (89)
5	46	96	52	1 (1)	201 (91)
6	33	111	36	12 (2)	475 (222)
7	54	131	61	3 (2)	309 (172)
8	25	77	25	0 (0)	171 (89)
9	34	97	37	2 (2)	163 (79)
10	37	96	42	0 (0)	199 (96)
11	44	88	44	0 (0)	127 (43)
12	29	76	33	0 (0)	170 (79)
1	26	73	27	0 (0)	135 (50)
2	31	85	33	2 (0)	178 (72)
3	24	61	28	0 (0)	188 (88)
計	406	1048	447	26 (13)	2,499 (1170)

()内は、女子で内数

図 書 館

1 概 況

所 在 地	彦根市尾末町 8 番 1 号
敷 地 面 積	4,500 m ²
建 築 面 積	1,795 m ²
延 建 築 面 積	2,743 m ²
建 物 構 造	鉄筋コンクリート 2 階建 (一部 3 階建)
起 工	昭和 53 年 12 月 7 日
竣 工	昭和 54 年 10 月 13 日
開 館	昭和 54 年 11 月 23 日
図 書 館 の 設 立	大正 5 年 4 月 25 日

2 個人登録および貸出状況（平成 26 年度）

区 分	本 館	動く図書館	合 計
登 録 者 数	81,692 人	本館に含まれる	81,692 人
貸 出 冊 数	561,053 冊	23,056 冊	584,109 冊
利 用 人 員	106,542 人	3,544 人	110,086 人

3 舟橋聖一記念文庫

彦根市名誉市民で作家の故舟橋聖一氏の蔵書・遺品約 42,000 点を記念文庫として昭和 51 年(1976 年)開設。

4 蔵 書 冊 数（平成 26 年度）

区 分	一 般 図 書	児 童 図 書	合 計
本 館 用	411,015 冊	158,232 冊	569,247 冊
舟 橋 聖 一 記 念 文 庫	17,458	56	17,514
動 く 図 書 館 用	57,820	32,480	90,300
団 体 貸 出 用	31,762	57,825	89,587
計	518,055	248,593	766,648

5 視 聴 覚 資 料（平成 26 年度）

カ セ ッ ト テ ー プ	1,412 本
C D	1,245 枚
紙 芝 居	2,945 組

6 視聴覚ライブラリー（平成26年度）

(1) 利用状況

月	区分	視聴覚資料		視聴覚機材		利用者数
		利用団体数	利用資料数	利用団体数	利用台数	
		月 別 (団体)	月 別 (本)	月 別 (団体)	月 別 (台)	月 別 (人)
4		0	0	0	0	0
5		0	0	0	0	0
6		0	0	1	1	150
7		0	0	5	8	90
8		1	2	3	3	128
9		0	0	1	1	40
10		0	0	2	2	65
11		1	2	3	6	70
12		1	2	3	4	67
1		1	3	0	0	330
2		0	0	2	2	23
3		0	0	1	2	25
合 計		4	9	21	29	988
月平均		1	1	2	2	82
1 団体 平 均			2		1	

(2) 資料保有数

映画フィルム							スラ イド	ビデオ テープ	録 音 テープ	DVD
16 ミリ			8 ミリ			合 計				
学校教育	社会教育	小 計	学校教育	社会教育	小 計					
本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	枚
315	198	513	145	38	183	696	561	1, 187	296	159

(3) 機材保有数

映写機			OHP	ビデオ	ビデオ プロジェクター	データ プロジェクター
16 ミリ	8 ミリ	スライド				
7 台	1 台	1 台	1 台	2 台	1 台	1 台

文 化 財

1. 平成 27 年度の目標

文化財は、彦根市の歴史や文化を理解する上で、欠くことができない市民共有の資産であり、特別史跡彦根城跡をはじめとする貴重な文化財の適切な保存と活用を図るとともに、埋蔵文化財や未指定文化財の調査を推進する。

○ 文化財保護の推進

市内に残る貴重な文化財の適切な保護を図るため、未指定文化財の調査、文化財委員会をはじめとする各委員会の開催および指定文化財の防災対策・保存修理に必要な補助を行う。

市民の文化財に対する理解を高めるため、史跡探索ウォークや出前講座などの啓発事業を推進する。

○ 埋蔵文化財発掘調査の推進

文化財保護法に則して、市内で行われる開発行為に対する行政指導を適切に行い、埋蔵文化財の発掘調査を推進する。

○ 特別史跡「彦根城跡」保存整備および維持管理の推進

本市の文化財保護事業の核となる特別史跡彦根城跡の保存整備を進めるとともに、中央町の外堀土塁遺構について調査を行い、特別史跡彦根城跡の関連遺構として追加指定をめざす。

彦根城内においては、石垣の詳細測量調査や修理を実施するとともに、樹木が繁茂しているため、危険木の伐採や石垣周辺の樹木の整備を実施する。

また、彦根城跡の適切な維持管理を図るとともに、重要文化財の各櫓を一般公開するなど、彦根城への誘客に努める。

○ 名勝玄宮楽々園保存整備事業の推進

名勝玄宮楽々園整備基本計画に基づき、玄宮園の魚躍沼護岸の発掘調査を継続するとともに、整備に係る実施設計を進める。また、楽々園地震の間棟などの保存修理を進める。

○ 伝統的建造物群保存の推進

彦根市伝統的建造物群保存地区保存審議会を開催し、保存計画の策定を進める。また、地元住民の理解を得るための啓発活動を行う。

2. 平成 26 年度の実績（主なもの）

○文化財保護の推進

- ①文化財委員会の開催（2回）
- ②市指定文化財の拡充（1件）
- ③佐和山城フォーラムの開催（1回）
- ④指定文化財の保存修理（7件）および維持管理の推進、文化財パトロールの実施
- ⑤旧彦根藩松原下屋敷（お浜御殿）庭園の維持管理と特別公開（春秋の計2回）
- ⑥未指定文化財調査の推進（建造物2件、歴史・民俗資料7件）
- ⑦郷土芸能への補助（3団体）
- ⑧佐和山城総合調査検討委員会の開催（2回）、佐和山城跡範囲確認調査の実施
- ⑨埋蔵文化財発掘調査の推進（本調査12件、試掘43件、立会30件、慎重工事64件）
- ⑩史跡・遺跡の詳細測量調査
- ⑪写真資料のデータ化（3215枚）

○特別史跡「彦根城跡」保存整備の推進

- ①特別史跡彦根城跡保存整備実施計画検討委員会の開催（1回）
- ②特別史跡彦根城跡石垣保存修理、石垣測量調査委託
（西の丸・水手御門付近石垣保存修理、尾末町中堀外石垣土のう設置工事）
- ③彦根城馬屋の保存修理
- ④天守・天秤櫓・西の丸三重櫓・二の丸佐和口多聞櫓・太鼓門櫓・馬屋の公開
- ⑤楽々園保存整備事業（地震の間ほか）、楽々園特別公開
- ⑥玄宮園護岸保存整備工事（第3区）、魚躍沼護岸（第4区）測量調査委託

○文化財啓発の推進

①開国記念館展示の実施

常設展「彦根の歴史」、企画展「佐和山城と石田三成」、「彦根城石垣解体調査速報展」

②その他展示の実施

民具展「様々なワラ道具」、写真パネル展「未来へ伝えたい彦根の1コマ」など

③現地探索講座の開催

彦根歴史探索ウォーク（2回）、彦根城探検隊（2回）、「とことん玄宮園！」など

④出前講座の実施（112回）

⑤刊行物の発行

『新修彦根市史』（第4巻 通史編現代）、「彦根文化財だより」第10号、「彦根市文化財年報」など

⑥エフエムひこねラジオ放送（週1回）

○伝統的建造物群保存の推進

①まちなみ相談室の開設（21回）

②啓発リーフレットの発行（21回）

(1) 埋蔵文化財調査実施例（平成26年度）主なもの

遺跡名称	時代	種類
○佐和山城跡	中世	城館跡
○福満遺跡	縄文時代～中世	集落跡
○丁田遺跡	古墳時代～中世	集落跡
○稲部遺跡	弥生時代～古墳時代	集落跡
○稲部西遺跡	古墳時代～平安時代	包蔵地
○竹ヶ鼻廃寺遺跡	弥生時代～奈良時代	寺院・集落跡
○出路遺跡	古墳時代～中世	包蔵地

(2) 彦根城入場者

年 度	彦根城・玄宮園（有料入場者数）（人）	総 計（無料含む）（人）
17年度	399,674	427,915
18年度	499,255	526,776
19年度	790,402	849,056
20年度	635,276	666,626
21年度	690,202	738,822
22年度	669,837	719,254
23年度	756,789	813,478
24年度	680,865	739,161
25年度	676,272	735,201
26年度	678,368	741,246

(3) 彦根城各施設入場料等

年 度	彦根城・玄宮園（円）	茶 室（円）	望遠鏡（円）	総 計（円）
17年度	184,897,628	10,317,500	159,660	195,374,788
18年度	245,756,053	11,687,900	169,560	257,613,513
19年度	652,530,841	19,173,812	237,375	671,942,028

20年度	345,881,820	12,839,000	220,905	358,941,725
21年度	379,134,980	11,548,800	201,240	390,885,020
22年度	369,471,981	9,054,460	171,315	378,697,756
23年度	413,762,007	13,795,500	157,950	427,715,457
24年度	369,965,367	12,658,000	158,895	382,782,262
25年度	369,145,811	11,711,900	150,075	381,007,786
26年度	372,387,644	12,313,100	160,065	384,860,809

(4) 指定文化財等一覧表

ア 指定文化財

種 別			名 称	員 数	時 代	所 有 者
国 指 定	国宝	建造物	彦根城天守附櫓及び多聞櫓	2 棟	桃山	彦根市
		絵画	紙本金地著色風俗図（彦根屏風）	6 曲 1 隻	江戸	彦根市
	重要 文化財	建造物	彦根城太鼓門及び続櫓	1 棟	桃山	彦根市
			彦根城西の丸三重櫓及び続櫓	1 棟	桃山	彦根市
			彦根城二の丸佐和口多聞櫓	1 棟	江戸	彦根市
			彦根城天秤櫓	1 棟	桃山	彦根市
			彦根城馬屋	1 棟	江戸	彦根市
			千代神社本殿	1 棟	江戸	千代神社
			長寿院弁才天堂 附 棟札 1 枚	1 棟	江戸	長寿院
			有川家住宅 附 文書 3 冊	5 棟	江戸	個人
		彫刻	木造観世音菩薩立像	1 躯	平安	少林寺
			木造阿弥陀如来坐像	1 躯	鎌倉	来迎寺
			木造日光菩薩立像・木造月光菩薩立像	2 躯	鎌倉	観道寺
			木造伝切阿坐像	1 躯	鎌倉	高宮寺
		工芸品	太刀 銘国宗（備前二代） 附 井伊直忠寄進状（1 通）	1 口	鎌倉	彦根市
			太刀 銘国宗（伯耆）	1 口	鎌倉	彦根市
			我宿蒔絵硯箱	1 合	室町	彦根市
古文書	彦根藩井伊家文書	27,800 件	桃山～明治	彦根市		
特別史跡		彦根城跡	488,627 m ²	江戸	彦根市ほか	
史 跡	彦根藩主井伊家墓所		6,370 m ²	江戸	清凉寺	
	荒神山古墳		15,101 m ²	古墳	個人ほか	
名 勝	玄宮楽々園		28,723 m ²	江戸	彦根市	
	旧彦根藩松原下屋敷（お浜御殿）庭園		20,881 m ²	江戸	彦根市	
県 指 定	建造物	多賀大社鳥居（一の鳥居）		1 基	江戸	多賀大社
		長寿院伽藍		4 棟	江戸	長寿院
		長久寺本堂（観音堂）		1 棟	江戸	長久寺
		彦留神社社殿		1 棟	江戸	彦留神社
	彫 刻	木造阿弥陀如来立像 附 像内納入品		1 躯	鎌倉	宗安寺
		木造阿弥陀如来立像 快慶作		1 躯	鎌倉	圓常寺
		木造僧形坐像		1 躯	中国・唐	千手寺
		木造僧形神坐像		1 躯	平安	本隆寺
	絵 画	絹本著色他阿真教像		1 幅	室町	高宮寺
	工芸品	刺繍阿弥陀三尊来迎図		1 幅	南北朝	唯稱寺
		彦根藩井伊家伝来具足		25 領	桃山～江戸	彦根市

種 別		名 称	員 数	時 代	所 有 者
県指定	史 跡	湖東焼窯場跡	5,880 m ²	江戸	個人
	名 勝	有川氏庭園	156,205 m ²	江戸	個人
市指定	建造物	旧西郷屋敷長屋門 附 袖塀・塀及び高麗門	1 棟	江戸	最高裁判所
		旧池田屋敷長屋門	1 棟	江戸	彦根市
		旧広田家（納屋七）住宅 附 茶室	1 棟	江戸	個人
		旧鈴木屋敷長屋門	1 棟	江戸	彦根市
		旧彦根藩足輕組屋敷 （善利組・太田家住宅）	1 棟	江戸	個人
		旧彦根藩武家屋敷（大村家住宅） 附 塀・門及び長屋	1 棟	江戸	個人
		金亀会館	1 棟	江戸	彦根市
		旧彦根藩足輕組屋敷 （善利組・中居家住宅）	1 棟	江戸	個人
		旧彦根藩足輕組辻番所（善利組）	1 棟	江戸	彦根市
		旧彦根藩足輕組屋敷 （善利組・旧磯島家住宅）	1 棟	江戸	彦根市
		旧彦根藩足輕組屋敷 （善利組・林家住宅）	1 棟	江戸	個人
		鹿島家住宅	1 棟	江戸	個人
		旧彦根藩足輕組屋敷 （善利組・服部家住宅）	1 棟	江戸	個人
		旧彦根藩足輕組屋敷 （善利組・吉居家住宅）	1 棟	江戸	個人
		佐々木家住宅	1 棟	江戸	個人
		彦根城表御殿能舞台	1 棟	江戸	彦根市
		旧彦根藩足輕組屋敷 （中藪組・瀧谷家住宅）	1 棟	江戸	個人
		旧彦根藩水主屋敷（水主小頭・旧磯崎家住宅） 附 土蔵・庭	1 棟	江戸	個人
		吉川家住宅 附 庭	1 棟	江戸	個人
		馬場家住宅 附 土蔵・庭	1 棟	江戸	個人
		道標「左中山道京いせ」「右彦根道」	1 基	江戸	彦根市
		旧井伊神社本殿、相の間及び拝殿	1 棟	江戸	彦根市
		旧彦根藩足輕組屋敷 （善利組・椿居家住宅）	1 棟	江戸	個人
		旧彦根藩足輕組屋敷 （善利組・北川家住宅）	1 棟	江戸	個人
		彦留神社石造宝塔	1 基	鎌倉～南北朝	彦留神社
		岩根家住宅	1 棟	江戸	個人
		旧彦根藩足輕組屋敷 （善利組・村山家住宅）	1 棟	江戸	個人
	絵 画	龍潭寺方丈襖絵 伝森川許六筆	56 面	江戸	龍潭寺
		絹本著色阿弥陀来迎図	1 幅	鎌倉	圓常寺
		絹本著色浄土変相図	1 幅	鎌倉	唯稱寺
		絹本著色阿弥陀来迎図	1 幅	鎌倉	善照寺

種 別		名 称	員 数	時 代	所 有 者
市 指 定	絵 画	絹本著色朝鮮高官像	1 幅	朝鮮	宗安寺
		絹本著色阿弥陀三尊来迎図	3 幅	鎌倉	高宮寺
		絹本著色伝熊野権現影向図	1 幅	南北朝	高宮寺
		絹本著色善導大師像	1 幅	室町	高宮寺
		絹本著色阿弥陀三尊像	1 幅	室町	高宮寺
		紙本金地著色秋草図屏風	6 曲 1 双	江戸	宗安寺
		井伊家歴代等肖像画	15 幅	江戸	清涼寺
		肥田城主肖像画	4 幅	桃山	崇徳寺
		紙本著色関ヶ原合戦図（木俣家本）	6 曲 1 隻	江戸	彦根市
	彫 刻	木造聖観音菩薩立像	1 躯	平安	慶光院
		木造阿弥陀如来坐像	1 躯	鎌倉	観音寺
		木造毘沙門天立像・木造不動明王立像	2 躯	平安	長久寺
		木造千手観音菩薩立像・脇侍 木造 毘沙門天立像・木造不動明王立像	3 躯	平安・室町	千手寺
		木造聖観音菩薩立像	1 躯	平安	久留美神社
		木造十一面観音菩薩坐像	1 躯	鎌倉	延寿寺
		木造仏頭	1 箇	南北朝	延寿寺
		武悪面	1 面	桃山	個人
		天狗面	1 面	江戸	大宮神社
		木造役ノ行者倚像	1 躯	室町	北野寺
		木造阿弥陀如来立像	1 躯	鎌倉	下後三条町
		木造僧形半跏像	1 躯	平安	千手寺
		木造菩薩形坐像（寺伝 観世音菩薩）	1 躯	鎌倉	崇徳寺
		木造地藏菩薩立像	1 躯	平安	極楽寺
		木造毘沙門天立像	1 躯	平安	長光寺
		木造聖観音坐像	1 躯	平安	国昌寺
		木造釈迦・十大弟子像並びに 十六羅漢・五百羅漢像	527 躯	江戸	天寧寺
		木造聖観音坐像	1 躯	平安	江国寺
	工芸品	鼻高面 附 毘沙門面 1 面	2 面	室町	久留美神社
		木製半月形前卓	1 基	室町	見塔寺別院
		井伊家伝来甲冑類	60 点	桃山～ 江戸	彦根市
		銅造男神鏡像	1 面	平安	八幡神社
		金銅阿弥陀如来懸仏 金銅観音菩薩懸仏	2 面	室町	勝鳥神社
	古文書	彦根御城下惣絵図	6 幅	江戸	彦根市
		中村家文書	3,484 件	江戸	個人
		宇津木三右衛門家文書	1,145 件	江戸	個人
		山田家文書	286 件	江戸	個人
		御城内御絵図	1 舗	江戸	彦根市
		木俣清左衛門家文書	559 点	安土・桃山 ～昭和	彦根市
	書 跡	紙本墨書六字名号 蓮如筆 附 同名号 2 幅	1 幅	室町	法蔵寺
	考古資料	子持勾玉（福満遺跡出土）	1 箇	6 世紀前半	彦根市
		塔心礎（普光寺廃寺）	1 基	7 世紀後半	廣濱神社

種 別		名 称	員 数	時 代	所 有 者
市 指 定	考古資料	翡翠大珠（丁田遺跡出土）	1 箇	縄文中期	彦根市
		荒神山古墳出土埴輪	188 点	古墳前期	彦根市
	史 跡	山崎山城跡	16,882 m ²	安土・桃山	彦根市
		竹ヶ鼻遺跡	4,200 m ²	奈良	彦根市
	名 勝	明照寺庭園	1,144.43 m ²	江戸	明照寺
		龍潭寺庭園（東庭）	1,021.82 m ²	江戸	龍潭寺
	天然記念物	オオトックリイチゴ	1 種	—	彦根市
		オニバス	1 種	—	彦根市
	無形民俗	小泉町幌踊り	小泉町幌踊り保存会		
		小野町太鼓踊り	小野町太鼓踊り保存会		
		大藪踊り	大藪踊り保存会		
		高宮町かぼちゃ踊り	高宮町かぼちゃ踊り保存会		

イ 国登録有形文化財

種 別	名 称	員数	時 代	所有者
国登録 有形文化財	滋賀大学陵水会館	1 棟	昭和	滋賀大学
	滋賀大学経済学部講堂 （旧彦根高等商業学校講堂）	1 棟	大正	滋賀大学
	中村商家保存館（主屋・文庫蔵・酒蔵）	3 棟	江戸～ 明治	個人
	スミス記念堂（旧須美壽記念禮拜堂）	1 棟	昭和	NPO 法人スミス会議
	百々家住宅主屋	1 棟	江戸	個人
	高崎家住宅主屋（旧川原町郵便局舎）	1 棟	昭和	個人
	宇水理髪館店舗	1 棟	昭和	個人
	滋賀中央信用金庫銀座支店店舗	1 棟	大正	滋賀中央信用金庫
	秋口家住宅洋館	1 棟	大正	個人
	奥野家住宅主屋	1 棟	江戸	個人
	上野家住宅主屋	1 棟	江戸	個人
	近江鉄道鳥居本駅舎	1 棟	昭和	近江鉄道(株)
	加藤家住宅（旧布惣、主屋・一之蔵・二之蔵・三之蔵）	4 棟	江戸	個人
	旧日夏村役場産業組合合同庁舎	1 棟	昭和	個人
	成宮家住宅主屋	1 棟	明治	個人
	旧石橋家住宅 （東主屋・中主屋・西主屋・東蔵・中蔵・ 西蔵・南蔵・南塀・庭塀・西塀・北塀）	11 棟	江戸～ 明治	彦根市
	森家住宅主屋	1 棟	江戸	個人
	寺村家住宅主屋	1 棟	昭和	個人

彦根城世界遺産登録

「彦根城」は、わが国が「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約（通称：世界遺産条約）」を承認した平成4年に、世界遺産暫定一覧表に登録された。本市では、「彦根城」が暫定一覧表に登録されて以来、特別史跡彦根城跡等の保存整備を計画的に進め、彦根城の普遍的価値を証明するための調査などに取り組んできた。

平成19年度に市長部局（企画振興部）に推進担当職員を配置し、翌年度に彦根城世界遺産登録推進室を設置した。

また、平成26年度には、調査研究を効率的に進めることを目的に、同推進室とは別に、教育委員会事務局文化財部に彦根城世界遺産登録準備室を設置した。そして、平成27年度からは、世界遺産登録業務にかかる組織を統合し、彦根市教育委員会事務局文化財部に彦根城世界遺産登録推進課を新設した。

1 県市連絡会議の開催

滋賀県と本市の担当者が、彦根城とその関連資産の世界遺産登録に向けての作業の進捗状況を確認し、その後の作業の進め方について協議する県市連絡会議を定期的に開催している。

2 世界遺産登録作業グループの設置

彦根城とその関連資産の比較研究や普遍的価値の証明を目的とした基礎調査を行うために、学識経験者および滋賀県と本市の担当者による作業グループを設置し、文化庁から示された課題（姫路城との差別化、国内の類似資産との比較研究など）に取り組みながら、構成資産の見直し、コンセプトの方向性などについての検討を重ねている。

3 国内外の専門家の招聘

世界遺産に関する国内外の専門家を本市に招聘し、世界遺産登録に関する最新の情報を学ぶとともに、本市の世界遺産登録に向けての作業にかかる助言や指導を受けている。

4 特別史跡彦根城跡保存管理計画の改訂

昭和59年（1984年）に策定された特別史跡彦根城跡保存管理計画の改訂作業を進め、特別史跡彦根城跡保存管理計画・整備基本計画検討委員会において検討を行っている。

5 世界遺産登録に関する啓発活動

市役所本庁舎と彦根駅に彦根城の世界遺産登録にかかる看板を設置するとともに、彦根城とその関連資産に関するパンフレットや啓発冊子を作成・配布し、世界遺産登録に向けての啓発活動を行っている。

彦根城博物館

1. 施設の概要

設 置 場 所	彦根市金亀町1番1号			
敷 地 面 積	16,827.18 m ²			
延 床 面 積	4,863.30 m ²			
建 物 構 造	本棟 鉄筋コンクリート造平屋建 一部二階 木造棟 木造平屋建 一部二階 能舞台 木造平屋建			
総 工 費	2,400,000 千円 (総事業費 2,700,000 千円)			
外 観 復 元 部 分	収蔵・保管部門	998 m ²	教育普及部門	211 m ²
	展示部門	809 m ²	休憩サービス部門	551 m ²
	調査・研究部門	162 m ²	その他	427 m ²
	事務管理部門	857 m ²		
	御座之間棟	322 m ²	局棟	100 m ²
木 造 復 元 部 分	奥座敷棟	188 m ²	能舞台	154 m ²
	御亭棟	84 m ²		
庭園復元部分	2,590 m ²			
開 館 年 月 日	昭和62年2月11日			

2. 展示

(1) 常設展示

「“ほんもの”との出会い」

徳川幕府の譜代大名筆頭格としての井伊家に伝えられた数多くの美術工芸品や古文書を中心に、受贈・購入・受託資料を併せて約9万1千点を数える博物館資料の中から、常時80点あまりを展示している。6つのテーマで構成しており、今年度は空調設備等改修工事のため、10月から臨時休館し、年間5回の展示替えを行った。

武家の備え・・・・・・・・	甲冑・刀剣・武具	幽玄の美・・・・・・・・	能面・能装束
数寄の世界・・・・・・・・	茶道具	雅楽の伝統・・・・・・・・	雅楽器
風雅のたしなみ・・・・・・・・	絵画・調度品等	古文書が語る世界・・	古文書・典籍

(2) テーマ展・特別公開・企画展

展 覧 会 名	会 期	入 場 者 数
特別公開「国宝・彦根屏風」	平成26年4月11日～5月13日	23,285 人
テーマ展「雅な舞 ―井伊家伝来の舞楽装束―」	平成26年5月16日～6月17日	12,614 人
テーマ展「湖東焼への憧憬 ―湖東焼と近現代のやきもの―」	平成26年6月20日～7月22日	10,549 人
企画展「彦根藩士の甲冑 ―赤備えの家臣団―」	平成26年7月25日～8月26日	23,766 人
テーマ展「武家の祝い ―彦根藩の祝賀行事―」	平成26年8月29日～9月30日	17,989 人

3. 収集・保管

(1) 購入資料

名 称	数 量
木田余兵左衛門家文書	67 点

(2) 受贈資料

名 称	数 量	寄 贈 者
染付山水図火入 1口 ほか	141 件	高崎 圭司 氏
三行書「□魏陳思王…」 1面 ほか	2 件	平居 圭子 氏
まからずや看板 1面 ほか	3 件	五味 由紀子 氏
専宗寺文書	3,989 点	専宗寺
杉江孝太郎家伝来文書	123 点	杉江 孝太郎 氏
湖東焼 赤絵金彩竹節形竹林七賢人図水指 自然斎作 1口 ほか	11 件	河本 英典 氏

(3) 移管資料

名 称	数 量	移 管 元
楽焼柳図茶碗 井伊直弼作	1 口	彦根市教育委員会文化財部文化財課

(4) 資料修理

名 称	数 量
重要文化財彦根藩井伊家文書のうち老中奉書・御城使寄合留帳	52 点※
箏 (そう)	1 面
龍笛 (りゅうてき)	2 管
箏篳 (ひちりき)	2 管

※このうち、御城使寄合留帳 3 点は、平成 26 年度および 27 年度に継続して修理を実施

(5) 資料貸出

4 展覧会 34 件

4. 調査・研究

- ・井伊家伝来資料を中心とする博物館資料の調査を進めた。
- ・大名道具を中心とした美術工芸品、旧藩士家・彦根藩関係文書の調査を行い、各分野の研究を進めた。
- ・市内を中心とした個人・寺社所蔵の美術工芸品、古文書の調査を進めた。
- ・企画展およびテーマ展開催に関わる資料の調査研究を進めた。あわせて平成 27 年度以降に開催する展覧会関連資料の調査研究を進めた。
- ・井伊家伝来能装束の基礎調査を調査補助員とともにに行った。
- ・井伊家伝来刀剣の基礎調査を専門家の協力を得て行った。
- ・「彦根城博物館研究紀要」第 25 号を刊行した。
- ・彦根藩史料叢書「侍中由緒帳」15 を刊行した。
- ・第 21 回「大名道具収蔵館研究会」（大名道具を収蔵する博物館が集まり、大名道具や大名家の歴史に関する研究発表・情報交換を行う研究会）に参加した。

5. 普及

- ・城郭博物館三館連携講演会「近世城下町の誕生と形成 ―安土・長浜・彦根―
(長浜市長浜城歴史博物館と滋賀県立安土城考古博物館との連携講演会) 参加者数：233 人
- ・テーマ展等ギャラリートーク (年間 5 回開催) 参加者数：延べ 163 人
- ・博物館講座 (美術講座・入門講座・出張講座) 参加者数：延べ 629 人
- ・博物館教室 (古文書のみかた・キッズサマースクール) 参加者数：延べ 557 人
- ・博物館夏祭り (県内博物館等により開催する子ども向けワークショップ)
参加者数：128 人 (来場人数延べ 1,290 人)

- ・彦根城博物館だより 年 4 回 各 8,000 部発行
- ・博物館学芸員実習 平成 26 年 8 月の 5 日間で 4 大学から 6 人を受入
- ・学校との連携
 - 職場体験 2 件 参加者数： 9 人
 - 質問対応・見学 8 件 参加者数： 419 人
 - 大学の講義：滋賀県立大学「博物館展示論」の講義に出講 5 日 受講者数： 43 人
- ・博物館案内（博物館の研修旅行等の団体来館に対して館を案内） 3 件 参加者数： 65 人
- ・講師派遣（自治体、学校、公民館、市民団体等からの依頼で講師派遣） 34 件 受講者数：延べ 2,045 人
- ・彦根城博物館ホームページ（日本語版）<http://hikone-castle-museum.jp/>
（英語版）<http://hikone-castle-museum.jp/en/>

6. 市民との協働

（1）彦根城博物館友の会

- ・展示解説ボランティアガイド登録者数：17 人 活動回数：延べ 184 回

（2）博物館支援スタッフ

博物館事業の運営に関わる支援スタッフを募集し、博物館職員と共に活動した。

- ・彦根城能・狂言運営事業 活動者数：延べ 61 人
- ・教育普及事業 活動者数：延べ 32 人
- ・古文書解読ボランティア 活動者数：延べ 248 人

7. 催物

- ・彦根城表御殿 水無月狂言の集い 平成 26 年 6 月 29 日 観覧者数：245 人
- ・第 48 回彦根城能 平成 26 年 9 月 20 日 観覧者数：148 人

8. 刊行物・印刷物

名 称	発 行 年 月
彦根藩士の甲冑－赤備えの家臣団－	平成 26 年 7 月
彦根城博物館研究紀要 第 25 号	平成 27 年 3 月
彦根藩史料叢書 侍中由緒帳 15	平成 27 年 3 月

9. 利用状況

（1）彦根城博物館入館状況

（単位：人）

	一 般	小・中学生	団 体	無料（公用等）	合 計
平成 23 年度	133,055	12,710	7,299	17,944	171,008
平成 24 年度	116,649	12,497	4,655	18,143	151,944
平成 25 年度	109,552	11,154	4,825	17,620	143,151
平成 26 年度	73,558	8,167	2,909	10,187	94,821

※平成 26 年度は、空調設備等改修工事のため 10 月から臨時休館

(2) 彦根城博物館特別利用状況（平成 26 年度）

（単位：件）

区 分	熟 覧	撮 影	原板使用	合 計
利 用 件 数	14	15	192	204

※1 件の申請で「熟覧」・「撮影」等を重複して申請をすることがあるため、「熟覧」・「撮影」・「原板使用」の合計と、「合計」とは一致しない。

(3) 彦根城博物館施設利用状況

（単位：件・人）

区 分		能舞台	木造棟	講 堂	合 計
平成 23 年度	利 用 件 数	45	6	125	176
	利 用 者 数	2,601	274	3,952	6,827
平成 24 年度	利 用 件 数	47	13	135	195
	利 用 者 数	2,978	315	3,718	7,011
平成 25 年度	利 用 件 数	49	10	113	172
	利 用 者 数	2,204	517	2,845	5,566
平成 26 年度	利 用 件 数	33	5	68	106
	利 用 者 数	1,388	260	1,861	3,509

(4) 国宝紙本金地著色風俗図（彦根屏風）商標使用状況（平成 26 年度）

（単位：件）

使用件数	13
------	----

10. 薄茶席・売店運営

(1) 薄茶席

彦根城博物館の普及活動の一環として、日本の伝統文化の体験と来館者へのサービスを提供するため、薄茶席コーナーを設けた。

一服 500 円

(2) 売店

彦根城博物館の普及活動の一環として、彦根城博物館に関連する彦根屏風ミニチュアをはじめ、図録等の普及物品を販売した。

